

# 宇治支援学校のことば

4号

## 喜びはともにあること

～ よりよく生きる力をはぐくむ ～

京都府立宇治支援学校 副校長 遠藤 慎二

柔らかい日差しに春の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、過日行いました卒業証書授与式では、高等部50名、中学部22名、小学部16名の児童生徒が卒業証書を受け取り、次のステージに向けて旅立ちました。卒業生の皆さんが、堂々と、そして晴れやかな表情で式に臨む姿を拝見し、一人ひとりの努力と成長の軌跡に深い感動を覚えました。当日は、御家族や御来賓の皆様にも列席いただき、温かな拍手と励ましの言葉に包まれながら、児童生徒は新たな一歩を踏み出す決意を新たにしていました。

そして本日、令和6年度修了式を行い、各学年の代表に修了証を手渡しました。児童生徒には、「修了証はこの後教室で全員に渡します。これは、1年間の学びを終えたことの証です。そして、中には含まれている個別の指導計画にはみなさんの後期のがんばりと成長が書かれています。ぜひ、この1年間の成長をお家の人と確認してください。」と伝えました。できなかったことができるようになる、分からなかったことが分かるようになる、友達に優しくできる、落ち着いて粘り強く取り組める等、様々な成長の姿が記載されています。ぜひ御家庭でその成長を共有し、喜び合っていただけたらと思います。

今年度、特別支援学校として私たち教職員は、児童生徒一人ひとりの可能性を広げることを目指し、教育活動を進めてまいりました。児童生徒たちは、それぞれのペースで大きく成長し、学校生活の中でたくさんの笑顔と成果を見せてくれました。その姿は、私たち教職員にとっても何よりの励みとなりました。

保護者の皆様には、今年度は本当にお世話になりありがとうございました。今後とも引き続き御理解と御協力、御支援をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

